

令和2年度

事業報告書

(公財)しまね産業振興財団

目 次

I. 概要と展望	1
----------	---

II. 業務総括	2
----------	---

III. 事業の取り組み

1 経営支援課の事業	6
------------	---

2 しまねソフト研究開発センターの事業	16
---------------------	----

3 新事業支援課の事業	22
-------------	----

4 販路支援課の事業	25
------------	----

5 総務企画課の事業	32
------------	----

■ 参考

令和2年度事業の事業評価（成果目標と行動目標）	34
-------------------------	----

令和2年度事業報告

I. 概要と展望

2019年12月に新型コロナウイルスが確認されてから1年半が過ぎようとしています。

2020年当初からの急激な世界規模での感染拡大により、各国は、独自にロックダウン、行動規制等の感染防止策を講じ、「人」や「もの」の移動が制限されました。その影響により、インバウンドの急減や、グローバルサプライチェーンの棄損による生産や、貿易の停滞が起こり、国内でも、人々の経済社会活動は抑制気味となり、あらゆる業種、業態の企業活動に深刻な打撃をもたらしました。

県内においても、観光関連産業、飲食店など、直接、個人消費に支えられる産業への影響は、感染初期から甚大な打撃として現れ、少し遅れて、農林水産業や、ものづくり産業に急激に拡大していく状況となりました。

その後、小康状態と感染拡大を繰り返し、現在は、感染第4波の中にあり、ワクチン接種は始まったものの、収束は未だに見通せない状況となっています。

新型コロナウイルスがもたらした影響は甚大で、県内企業が被った損失も少なくありません。しかし、そのような状況下でも、新たな手法やアプローチでコロナ禍を懸命に生き残り、収束後の新たな需要を取り込もうとする県内企業の前向きな取り組みも出始めています。

私たち、しまね産業振興財団は、懸命に生き残りをかける県内企業と共に、コロナ禍という試練を克服していくために、行政や他の支援機関との連携を一層強め、多くの県内企業を総力戦で支援できるよう務めてまいります。

Ⅱ. 業務総括

令和2年度は、新型コロナウイルスにより急激に悪化した経済環境下で、県内企業の生き残りを最重要課題に置き、当初計画の修正、補正と相談対応等、企業との折衝については、WEBを活用しながら企業支援に取り組みました。

年度当初は、売上激減の県内企業の当面の資金繰りを支えるための「**資金確保**」を重点テーマに、売上減少幅が比較的小さくなった下期以降は、新たな生活様式で生まれる需要を獲得するための「**新分野進出・新事業構築**」を重点テーマに支援を行いました。また、ウイルス感染防止を目的に行われる交替勤務や、稼働日数抑制の影響を最小化することを目的とする「**新たな生産体制構築・生産性向上**」については、年間を通じ重点テーマとして支援を行いました。

資金確保への支援

緊急対策として補正措置された持続化給付金などの各種助成制度や、新型コロナウイルス感染症対応資金など特別融資の制度周知や、各種申請に係るアドバイスを、よろず支援拠点コーディネーターの増員などを図り、積極的に行いました。

また、設備貸与制度については、据え置き期間、償還期間の延長と、損料率を低減し、企業の資金繰り負担軽減に資する特別制度を補正で設けました。

新分野進出・新事業構築への支援

ものづくり産業サプライチェーン再構築助成金など新たな助成制度を年度途中で補正拡充し、重要部品生産の国内回帰や、新たな生活様式に伴うニーズに対応した県内企業の新製品、新サービス開発などへの取り組みを支援しました。また、新規販路の開拓については、商社やセールスレップなど外部リソースの活用を促すためのセミナー、新たな助成制度を拡充して支援しました。

新たな生産体制構築・生産性向上への支援

ものづくり産業生産プロセス変革支援助成金、しまねデジタル利活用推進助成金など新たな助成制度を補正拡充し、新たなものづくりプロセス、ビジネスモデルの構築を支援しました。また、生産性向上については、IoT活用や省力化設備の導入を促すためのセミナー、新たな助成制度を拡充して支援しました。

1. 総事業費

(単位：千円)

事業支出		令和2年度	令和元年度	増減 (R2 - R1)
公益事業	補助事業 (助成金等)	179,772	191,881	△12,109
	支援事業 (専門家派遣、商談会等)	326,998	326,415	583
	設備貸与	244,630	159,000	85,630
	人件費	243,870	258,446	△14,576
	小計	995,270	935,742	59,528
収益事業 (施設管理)		253,370	234,263	19,107
管理費		90,253	80,953	9,300
合計		1,338,893	1,250,958	87,935

2. 企業支援の状況

支援実績総数は、支援企業数2,845社、支援件数10,035件となりました。

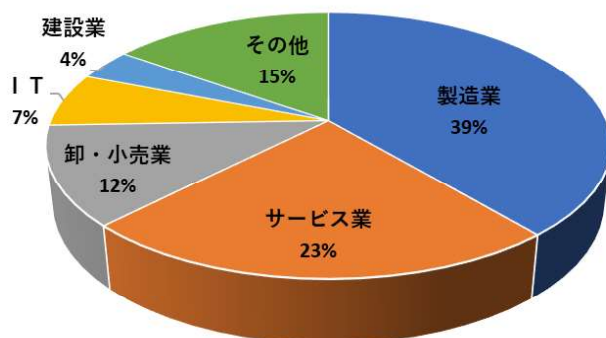
【区別支援実績】

	令和2年度		令和元年度	
	企業数 (社)	支援数 (件)	企業数 (社)	支援数 (件)
支援総数	2,845	10,035	2,091	8,137
総合支援※	449	5,854	359	4,239
新規相談	1,054	2,176	702	1,578

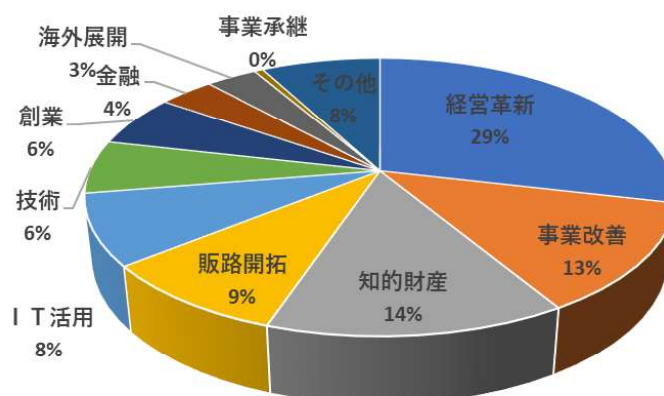
※複合的な課題に対して財団各課等との連携で支援した先、伴走支援を実施した先の実績

【相談の内容】

業種別相談件数割合



内容別相談割合



新型コロナウイルス関連での相談増加やよろず支援拠点事業の市町村窓口設置等の相談体制強化から、新たに相談を受けた企業数が前年より**352社増加**し、全体でも支援企業数が754社増加しました。

具体的には、新型コロナウイルス関連の相談対応により、卸・小売業、IT、その他業種（特に農林業、医療・福祉、教育・学習支援）での経営相談が対前年比で大きく増加しました。

3. 顧客満足度

島根県の産業支援施策を実施する公益機関として、その活動を常に改善するとともに、効果的な施策立案の参考にするため、**企業及び支援機関等**を対象に財団の活動に関する満足度調査を実施しました。

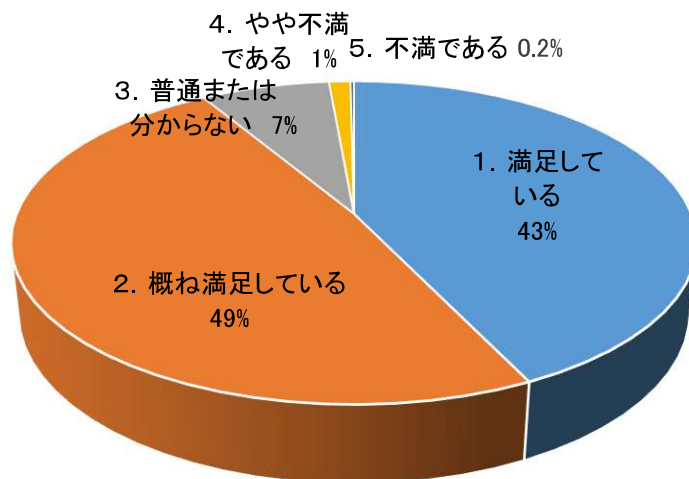
【調査結果】

高満足度率※ **91.3%** 《目標値100%》

※回答区分5つのうち、「満足」「概ね満足」の回答割合

(参考) R1年度：90.4% 対前年 **+0.9ポイント**

《回答割合》



調査対象先：

(1) 財団を活用した企業等 **4,320** 先

(2) 県内産業支援機関等 **71** 先

調査方法：アンケート調査

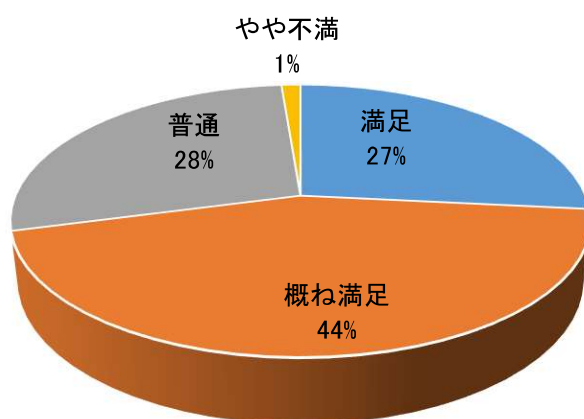
回収率：**47.6%**

「満足している」と「概ね満足している」を合わせた「高満足度率」の評価は**91.3%**となり、前年度の90.4%より0.9ポイント増加しました。「普通」は7.2%で、前年度の8.1%から0.9ポイント減少しました。また、「やや不満である」「不満である」の「不満足度率」は1.4%となり、前年度の1.5%から0.1ポイント減少しました。

引続き9割以上の方から高い評価を頂いていますが、約10人に1人の方は活用に対して満足いただけていない（利用効果がみえない）結果となりました。

今回の調査では、令和2年度に当財団が実施した新型コロナウイルス感染症対応のための各種施策についても満足度調査を実施しました。その結果、新型コロナウイルス感染症対応施策について「満足している」「概ね満足している」を合わせた「高満足度率」は71%、「普通」28%、「やや不満である」と「不満である」の「不満足度率」が1%となりました。

通常の支援施策の満足度に比べて「普通」の割合が高くなっており、改善の余地があることが伺えます。今後も、県内企業がコロナ禍を乗り越えるために必要な支援を行っていくと共に、全体目標の「顧客満足度100%」達成に向けて、利用ニーズの把握や事業の改善に努めてまいります。



Ⅲ. 事業の取り組み

1 経営支援課の事業

県内企業に対する令和2年度の支援実績は、**2,845社**に対し**10,035件**（新規相談受付企業**1,054社**）であり、新型コロナウイルス感染症関連の相談対応の増加により前年度実績比**23%増加**した。このうち**449社**については、経営体質の強化に向けて経営・販路・技術等、総合的・継続的な支援を実施した。また、市町村や他の産業支援機関との**連携相談868件**に対応するとともに、よろず支援拠点事業においては、複数の自治体に相談窓口を開設し、専門コーディネーターがコロナ禍における企業経営のサポートを行った。

（総合相談グループ）

（1）総合相談及びコーディネート

決算額 22,835 千円

各種相談への対応、マッチング等を行うとともに、経営の革新に意欲的に取り組む企業、創業者の経営計画達成に向けて助言・支援を実施した。

実績値 CS調査による不満足度率

3.5%（目標値：0%）

総合コーディネート（相談）件数 **2,845社**（延**10,035件**）

《相談区分内訳》

（単位：件）

業種	経営相談				技術相談		販路 開拓	海外 展開	創業	事業 承継	その他	小計
	経営 革新	事業 改善	金融	IT 活用	技術	知的 財産						
製造業	982	382	130	165	335	532	677	234	36	23	402	3,898
卸・小売業	439	201	43	19	20	233	66	37	88	4	61	1,211
IT	58	22	3	421	22	45	36	2	25		26	660
建設業	111	33	34	11	36	69	8	12	17	11	39	381
サービス業	894	467	88	105	80	235	74	31	252	11	124	2,361
その他	394	167	65	104	130	275	41	20	191	8	129	1,524
小計	2,878	1,272	363	825	623	1,389	902	336	609	57	781	10,035

（2）よろず支援拠点

決算額 83,283 千円

商工団体・地元金融機関や財団内専門スタッフと連携し、小規模事業者等が抱えるあらゆる課題に対応するため、4名のコーディネーター、26名の専門コーディネーターを配置し、適切なコーディネート、課題解決に向けた適切な支援体制を組み合わせながら**5,591件**（前年度比**8%増**）の相談対応を行った。令和2年度は、コロナ感染症による支援拡充により市町での相談窓口を設置し対応を行った。

実績値

来訪相談件数

2,307件（※総合相談件数に含む）

※国の集計値 5, 591件 1相談複数相談区分あり

相談窓口設置市町村 6市町

(松江市、出雲市、雲南市、大田市、浜田市、美郷町)

(3) 経営力の強化促進

実績値 付加価値向上企業率 45% (目標値: 80%)

①経営力の革新支援

決算額 7,299千円

経営革新に意欲的に取り組もうとする県内中小企業に対し経営革新計画等の策定並びに各種補助制度活用への支援を行うとともに、経営革新計画承認・各種助成事業採択となった企業には、計画実行面でのフォローアップを実施した。

実績値 経営革新計画承認取得及び各種補助制度採択・認定等企業数 79社
(目標値: 40件)

松江市製造業緊急販路拡大等支援補助金 15件
ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金 11件
事業継続力強化計画承認企業数 11社
経営革新承認取得企業数 10社
小規模事業者持続化補助金 5件
地域未来牽引企業選定推薦 3件
しまね地域産業資源活用支援事業 3件
その他補助制度採択・認定等企業数 21件
(新型コロナウイルス対応経営改善支援事業補助金
採択 1件 2,235千円採択)

国等の施策活用に向けた支援活動

県内企業が経済産業省などの施策活用に向けた支援を行い16件(交付決定額約85百万円)の活用につながった。

事業名	支援件数	採択件数
ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金	19	11
小規模事業者持続化補助金	6	5

②ものづくり産業サプライチェーン等支援

決算額 100,000千円

新型コロナウイルス感染症の影響によるグローバルサプライチェーンの棄損から、重要部品の生産拠点を国内に戻す動き等を支援すること、及びウィズコロナ社会での新たな生活様式に伴う新たなニーズに対応する新製品・技術の開発に対して助成事業を実施した。

実績値 交付決定企業数: 11社11件、決定額100,000千円(目標値: 10社)

企業名	事業内容
エステック(株)	粉体材料の表面改質を可能にする粉体用真空プラズマ照射装置及びボトル式プラズマ照射機構の開発
(株)ナカサ	金型製造事業への再進出
(株)ニッポー島根工場	プリント基板 半田付け工程の内製化
富士酒造合資会社	新たな酒飯店の開拓
(株)丸八ポンプ島根工場	海外（中国）外注工程の内製化
アケボノ(株)	最新 CNC 三次元測定機導入による高度品質保証体制確立・コロナ禍に対応した医療機器分野への新規参入
(株)キグチテクニクス	航空機産業分野を中心とした新たな海外サプライチェーンへの参入と市場開拓に向けた NC プログラム加工が可能な細穴加工機の導入による CT 試験片加工効率向上事業
(株)研電社	ステンレス曲げ加工の社内回帰
中浦食品(株)	革新的な技術を用いての新商品開発
(株)フクテコ	高精度複合加工品の多品種生産体制強化
マシン・テクノロジー(株)	高機能薄膜製膜装置の開発

③ものづくり産業生産プロセス変革支援事業

決算額 88,837 千円

ものづくり企業が省力化・自動化を進め、人と機械が協調した生産体制を整備し、感染症リスクを低減させることで生産活動を継続していける体制を構築するため、助成事業を実施した。

併せて、取組みを促進させるため、自動化、ロボット、デジタル技術活用によるニューノーマル対応の啓発セミナーを開催した。

実績値 自動化生産性向上 工場変革啓発セミナー開催 受講者 70名

交付決定企業数：10社10件、決定額87,847千円（目標値：10社）

企業名	事業内容
(有)安達精機	工程集約による省人化とNC旋盤工程分散化による感染リスク低減
(有)板橋木工所	モデル加工機導入による生産性能力向上と高効率化及びフィジカルディスタンス
(有)重親鉄工	自動搬送機付NC複合旋盤導入による、人的作業の削減、及び新規案件取込余地の確保
(株)アルプロン	新型コロナウイルス感染拡大下における感染リスクの極小化による事業活動の継続と生産性向上を目指したITの活用・推進
(株)トリコン	中核工程への最新設備の追加導入による競争力向上及び人員削減に伴う感染リスクの低減
(有)田中豆富店	豆腐製造における冷却時間の短縮における省人化及び生産性の向上
(有)益田縫製工場	自動裁断システム(CAD/CAM, 自動裁断機)導入による裁断工程効率化・製品品質向上及び工程自動化による省力化・感染リスク回避

(有)本田商店	外装包装の自動化、無人化に向けた核心部分である自動包装システムの構築
(株)シバオ	石州「軽量棧瓦」生産の省人化と設備生産性向上
(有)エムエスフーズ	商品データの一元化管理システム導入による情報強化と負担軽減、及び最新ピッキングシステム導入による省力化と多能工化による人材確保

④ I o T等を活用した生産技術の導入支援

決算額 19,792 千円

県内製造業における I o T等の導入を促進するため、意識啓発のためのセミナー開催や専門家派遣、I o T技術等の導入・実証のための助成事業等を実施した。

●成果を出すための3つのステップ



実績値 中小企業の工場デジタル化セミナー

- ・ゼロから分かる「IoT 導入プロセス概論」 受講者 32名
- ・先進企業に学ぶ「中小製造業の IoT 導入の進め方」 受講者 26名
- ・仮想シナリオによる「IoT 導入プロセス実践演習」 受講者 5名

伴走型 I o T導入実証プログラム 1件

次世代生産技術 (IoT, AI 等) 導入助成金交付決定 5社 (目標値: 3社)

企業名	事業内容
(有)本田商店	AI 画像認識システムによる異物等の不良品除去
ヒカワ精工(株)	2 輪機械加工ライン自動化に伴う、バラ積みピッキングシステムの導入
(株)ダイハツメタル	AI/IoT システム導入による、電力低減と検査精度向上
松江電装(株)	画像処理判定による欠品製品の流出防止
(株)協栄ファスナー工業	板バンド専用自動機への IOT 導入

⑤国際規格等取得の促進

決算額 2,000 千円

県内製造業等の経営力・技術力・受注力強化を図るため、国際規格等の認証取得に必要な経費 (審査登録費用、コンサルタント費用) の一部を助成した。

実績値 交付決定企業数: 2社2件、決定額2,000千円 (目標値: 4社)

企業名	業種	認証内訳
三宝化成工業(株)	プラスチック製品製造業	F S S C 2 2 0 0 0
(株)加地	プラスチック製品製造業	I S O 1 3 4 8 5

カ. HACCP対応の促進

決算額 2,560千円

(ア) 衛生認証の取得促進

食品製造業の衛生管理や品質管理の知識習得や管理計画等の策定を推進するため、HACCP計画策定時に必要となる経費（審査登録費用、コンサルタント費用）の一部を助成した。

実績値 交付決定企業数：3社3件、決定額2,560千円（目標値：3社）

企業名	業種	認証内訳
(株)令和シーフーズ	食品製造業	ISO22000
(株)MJビーフ	食肉製造・卸売業	JFS-B
(有)クボタ牛乳	牛乳・乳製品製造業	JFS-B

(4) 専門家の派遣

決算額 34,353千円

企業の競争力強化及び課題解決手法の定着化を目的に、県内ものづくり企業に対して生産管理や品質管理などの各種専門家を派遣した。

実績値 派遣件数 68件（ものづくりアドバイザー：61件、
リモートワーク導入モデル：2件、ミラサポ：5件）
（目標値 アドバイザー派遣件数：70件）

集合研修受講企業数 144社（目標値：90社）
改善実施率 80%（目標値：90%）

①個別企業への専門コンサル派遣

ア. 財団の専門家派遣（ものづくりアドバイザー派遣事業）

実績値 課題解決率98% アドバイザー派遣件数：61件、派遣回数：356回
（目標値 課題解決率90%）

《ものづくり企業(食品製造業を除く)テーマ別派遣件数》

地区/テーマ	経営力の向上	技術力の向上	販路開拓	創業・再チャレンジ	事業承継	その他	計
県東部	12	3	8	—	—	2	25
県西部	4	3	—	—	1	—	8
計	16	6	8	0	1	2	33

《食品製造業テーマ別派遣件数》

地区/テーマ	経営力の向上	技術力の向上	販路開拓	その他	計
県東部	13	6	1	2	22
県西部	4	1	1	—	6
計	17	7	2	2	28

イ. リモートワーク導入モデル事業

県内中小企業のリモートワークへの対応を推進することを目的に、モデル企業を選定し、リモートワーク導入に向けて専門家を派遣した。

実績値 モデル事業実施企業数 2社

企業名	業種	事業内容（交付決定額）
協栄金属工業(株)	金属製品製造業	工場視察のリモート対応
(株)シバオ	瓦製造業	営業活動・会議のリモート化

②現場改善塾の開催（集合研修）

県内ものづくり企業の収益力強化において生産現場及び管理等部門の抱えるムダを徹底的に洗い出し、改善に取り組むための集合研修等を開催した。今年度は、新型コロナウイルス感染症の蔓延防止の観点からリモート参加による研修に限定し開催した。

講座名	講師	開催時期	回数	企業数	人数
ものづくり工場管理実践塾	(公財)日本生産性本部 鍛冶田 良氏 小林 俊介氏	(集合研修) R2.6~R3.1	4回	21社	51名
ものづくり工場管理実践塾 (ホワイトカラー編)	(一社)中部産業連盟 杉藤 里美氏	(集合研修) R2.12	2回	7社	10名

ものづくり企業向けWEB研修のYouTube配信

3密の抑制から集合研修の開催が困難な中、製造業者を中心に、操業休止の間に従業員に研修を受けさせたいという声が多かったことから、品質管理等の専門家による講義の動画を制作し、YouTubeを活用して配信した。

7テーマのWEB研修配信

動画タイトル	配信回数	活用企業数	受講者数
1 品質管理入門	58回	32社	544名
2 問題解決入門	44回	28社	413名
3 課題原因究明	48回	28社	363名
4 付加価値向上入門	10回	7社	123名
5 現状把握における数値データ活用入門	8回	8社	100名
6 系統図活用入門	7回	7社	101名
7 すぐできるムダ取り入門	6回	6社	88名
計	181回	116社	1,732名

(5) 設備の貸与

決算額 244,630 千円

設備の近代化・経営の合理化を図ろうとする中小企業の経営基盤強化や創業者が事業を行う上で必要な設備を財団が代わって購入し、長期かつ低利での割賦販売を実施した。

今年度は新型コロナウイルス感染症発生の影響により、直近3か月間の売上高等が前年同期に比して15%以上減少している中小企業に対し、「新型コロナウイルス感染症対策特別枠」を、令和2年7月豪雨及び令和2年8月7日からの隠岐地区の大雨により被災された中小企業を対象に「災害対応枠」を創設し、事業再構築に向けて設備投資の支援を行った。

実績値 貸与件数：21社 24件 (目標値：26件)

[内、新型コロナウイルス感染症対策特別枠：14社17件]

貸与金額：244,630千円

[内、新型コロナウイルス感染症対策特別枠：121,310千円]

《業種別・地域別貸与件数》

地区／業種	製造業	建設業	運輸業	サービス業	合計
出雲部	16 (11)	1 (1)	1 (-)	2 (2)	20 (14)
石見部	1 (1)	- (-)	- (-)	3 (2)	4 (3)
合計	17 (12)	1 (1)	1 (-)	5 (4)	24 (17)

【凡例】()内は新型コロナウイルス感染症対策特別枠の実績
特利枠・災害対応枠の実績はなし

設備貸与制度内容

[一般枠・特利枠]

設備価格(消費税込)：100万円～1億円

返済期間：7年以内(内元金据置1年以内)

※但し、6,000万円以上1億円以下に限り12年以内(内元金据置1年以内)

固定金利：年1.75%(特利年1.60%)

[新型コロナウイルス感染症対策特別枠・災害対応枠]

設備価格(消費税込)：100万円～3,000万円

※但し、災害対応枠は100万円～5,000万円

返済期間：10年以内(内元金据置3年以内)

※但し、公害を防止する設備は15年以内(内元金据置3年以内)

固定金利：当初3年間は0%、4年目以降は年1.60%

(創業・人材支援グループ)

(1) 創業者への支援

①起業家の支援

決算額 340 千円

インキュベーションマネージャーを配置し、起業家勉強会やセミナー開催を通じ、起業を志す人や第二創業を計画している個人及び法人などを発掘するとともに、インキュベーション施設の活用を含め具体的な経営計画策定支援並びに、目標達成に必要な課題の抽出・解決方法のアドバイスなどにより起業支援を行った。

相談件数 280社 (目標値: 200社)

新規インキュベーション施設入居・創業企業数51社 (目標値: 20社)

《参考》 インキュベーション施設入居状況 (R3. 3. 31)

松江: 38室中13室 (12社) 石見: 8ブース中3ブース (3社)

②支援体制の強化

決算額 1,232 千円

市町村、商工団体、金融機関、NPO法人等との連携を深め、各地域の連携支援体制を強化するとともに各地域の起業支援活動を支援した。

また、創業支援施設の設立・運営支援において、安来市「やすぎ懐古館一風亭」における創業支援連携を引き続き行った他、奥出雲町、浜田市、大田市においても起業家予備軍の掘り起こしを目的とした創業支援研修を実施した。

対象地域: 出雲市、安来市、大田市、川本町、奥出雲町、浜田市

③実践型起業塾等の開催

決算額 3,202 千円

ア. 地域経済への貢献度の高いビジネスプランを持つ起業希望者に対し、課題解決型のためのプログラム「STEP」を2会場で開催し、地域支援機関とともに事業化に向けた支援を行った。

実績値 参加者数12名 (目標値: 10名)

◆松江会場

開催回数: 8回 (本編6回 フォロアップセミナー1回 オプションツアー1回)

参加者数: 7組8名 専門家派遣回数: 4回

◆奥出雲会場

開催回数: 7回 (本編6回 個別フォロアップ1回)

参加者数: 4名

イ. 県・支援機関等と連携し、「しまね起業家スクール」を開催した (しまね起業家スクール実行委員会より受託)。

開催回数: 12回 (マインドアップ編2回 ブラッシュアップ編7回 プレゼン編2回)

参加者数: 41名

④創業補助金採択者へのフォローアップ

決算額 176 千円

中小企業庁において実施され創業補助金で採択された個人および中小・小規模事業者に対し、継続的なフォローアップを行った。

フォローアップ創業者数：4社

(2) プロフェッショナル人材戦略拠点事業

決算額 21,039 千円

県内中小企業等の成長戦略の実現や円滑な事業承継のため、主に大都市圏のプロフェッショナル人材の地方還流（UIJ ターン）を促進する活動を行った。

また、県内企業における副業・兼業等の活用有効性の理解増進に努めた他、採用時の仲介手数料補助事業、副業・兼業利用時の旅費補助事業を実施した。

- 実績値**
- ・相談件数 245件（目標値 200件）
 - ・プロフェッショナル人材採用成約数：15件（目標値：25件）
【内 訳】 有料職業紹介経由：5件 無料職業紹介経由：10件
 - ・補助事業採択件数 3件（交付決定額 2,073千円）

(3) 産業人材育成支援事業

決算額 11,939 千円

県内企業のものづくり人材の育成を支援するため、島根県産業技術センター、松江工業高等専門学校及び島根県鐵工会と連携し、コロナ感染症防止対策を講じた上で、WEBを活用したリモート開催を組み合わせるなどにより、各種の人材育成講座を開催した。

実績値

- ・開催講座数：25講座 参加企業数：202社 延べ受講者数：386名
(目標値：受講企業数 100社)
- ・満足度率：89%（目標値：90%）

■実施講座一覧

連携	分野	セミナー・講座名	実施回数	参加企業数	参加者数	高満足度率
島根県産業技術センター	設計信頼性	材料力学の基礎と設計への応用<初級編>	1	8	17	71%
		騒音の基礎と低騒音化技術	1	4	6	33%
		材料力学の基礎と設計への応用<中級編>	1	9	19	53%
		真空技術の基礎と展開	1	7	13	46%
		材料力学の基礎と設計への応用<応用編>	1	5	8	88%
		実務に活かす機械設計の基本	2	15	22	100%
		図面の基礎 level10 図面の描き方 (初級編)	1	22	44	100%
		図面の基礎 level100-STEP2 設計加工検査と会話ができる図面の読み方 (中級編)	1	21	49	94%
		図面の基礎 level12 はじめての幾何公差	1	19	48	90%
	品質管理	回路設計者のための熱設計・対策技術	1	4	7	100%
		IoTを活用するための通信技術基礎	1	15	22	85%
		Arm Cortex-M で学ぶ組み込みC言語入門	1	5	10	90%
		EMC Android & Raspberry Pi 活用技術	3	10	15	93%
		組込み機器のセキュリティ入門	1	7	9	80%
食品製造	食品製造技術者のための衛生管理技術入門	1	21	31	100%	
松江高専	3DCAD	3次元CAD講座(4日間シリーズ)	2	10	16	96%
	電子制御	シーケンス制御講座(入門編)	2	9	10	91%
		シーケンス制御講座(タッチパネル編)	1	4	4	100%
島根県鐵工会	技術C ものづくり	金属加工用設備の使い方	1	2	25	100%
財団自主事業	素材技術	「20年後を見据えた企業・技術者のあり方」 ①素形材産業の将来ビジョン②SDGsを考慮したものづくり産業のあり方	1	5	11	100%
合 計			25	202	386	89%

(4) ものづくり新人育成塾の開催

決算額 3,416千円

ものづくりの基本を学び、技術者としての自覚を醸成させることを目的に、県内ものづくり企業の新入社員を対象にした講座を開催した。

実績値

・開催講座数：6回 ・参加者数：25名（目標値：新人育成者数 30名）

2 しまねソフト研究開発センターの事業

県内 IT 産業の競争力強化を図るために、新商品・新サービス開発などの新事業創出支援、2～3年先の市場動向・必要技術を見据えた先駆的研究、セミナー、勉強会などの人材育成、最新機器の共同利用等の事業を行った。

また、様々な業種の県内企業に対して、ウィズ・アフターコロナ時代の新たな生活様式への対応による売上拡大などに向けた取り組みの支援として、「しまねデジタル利活用推進助成事業」を実施した。

実績値

先駆的研究・新サービス創出企業支援の促進 **事業化件数 3件**（目標5件）
 競争力強化を図る企業支援の促進 **取引拡大等した企業数 10件**（目標9件）
 ITの利活用に向けた支援 **セミナー参加者満足度 82.7%**（目標90%）

(1) 新サービスの創出・競争力強化を図る県内企業の支援

決算額 28,085 千円

新サービスの創出・競争力強化を図る県内企業の支援を助成金により支援するとともに、事業アイデアのブラッシュアップや Web マーケティングなどのテーマについてメンターによる個別支援を実施した。

① データ活用型サービス創出支援助成金 【1件】

県内の IT 事業者が、自社等が保有するデータを基に、AI 等の高度な技術を活用し、売上増加・利益率向上等を促進する新たなサービス・製品を創出することを目的とした助成事業を実施。

企業名	事業名
(株)テクノプロジェクト	細胞診スクリーニング AI 支援システム

② IT活用サービス創出シード支援助成金 【6件】

県内企業が売れるサービス・製品を市場へ投入することを目的に、顧客・市場調査、プロトタイプ開発、サービス・製品開発と、新事業創出を目指す企業に対して、どの段階から受けられる支援を行った。

企業名	区分	事業名
(株)シーエスエー	サービス・製品開発	積算らいでん AI 化事業 (AI による自動取込機能の強化とマスタ化)
(株)バイタルリード	サービス・製品開発	地方部タクシーを活用した飲食店デリバリーシステム
(株)World Utility ハウジングスタッフ(株)	プロトタイプ制作	住宅打合せ用タブレットシステム及び管理画面制作
(株)テクノプロジェクト	リサーチ・インビュー	ワンストップ栄養指導サービス
(株)テクノプロジェクト	リサーチ・インビュー	有害獣駆除業務の効率化に向けたリサーチインタビュー事業
(株)インフィニマム	リサーチ・インビュー	「HACCP NOTE」サービス開始

③試作・技術開発支援助成金 【3件】

VR・AR、IoTなどの先端技術を用いた、独創性や新規性に富む試作開発や技術検証を支援する助成事業を実施した。

企業名	事業名
㈱JUKI 松江	mruby/c 評価基板による IT 機器の試作
㈱テクノプロジェクト	mruby/c を活用した換気を見える化する IoT 製品の開発
㈱島根情報処理センター	広域の水流モニタリングを実現するための低価格 IoT 水位計の試作・技術開発

④受託開発競争力強化支援助成金 【0件】

県内企業が発注者により近い上流工程の受託や大規模な受託案件を獲得するため、SE の派遣に伴う経費を支援するための助成金。R2 年度の採択実績は新型コロナウイルスの影響により新規の申請は無かったが、R1 年度採択分（チーム出雲オープンビジネス協議会）に対して継続取引に向けたフォローアップを行った。

⑤開発ソフトウェア・サービス販路拡大支援事業【4件】

県内企業等が自社で開発したソフトウェア製品等の販路を拡大するため、新規顧客開拓県外での展示会出展費用や Web マーケティングに係る経費の一部の助成を行った。

企業名	販路拡大計画名称
㈱オネスト	調達業務改革 Web-EDI e-商売 [®] XX の販路拡大
㈱シーエスエー	「積算らいでん」シリーズ顧客層維持・深耕計画
エクスウェア㈱	Web 面接システム・勤怠管理システム販路拡大事業
㈱オプティマ	株主総会支援システム Kabukura の販路拡大

⑥メンター支援事業

県内 IT 企業に対して、R2 年度はビジネスプランのブラッシュアップ、Web マーケティングの実践力を習得する個別のメンター支援事業を実施した。

事業名	内容	受講企業
ビジネスプラン Pitch Training! (全5回)	ビジネスプランをブラッシュアップ するためメンタリングを実施。	5 社
Web マーケティングメンター支援事業 (個別指導)	Web マーケティングの実践力習得ためメンターの個別支援プログラムによる指導を実施。	3 社

(2) 先駆的研究の促進

決算額 9,810 千円

2～3 年先の市場動向・必要技術を見据えた IoT、AI（機械学習）をテーマに、大学・高専・公設試・民間企業等との共同研究を実施し、その研究成果の事業化の促進を図った。

①IoT 研究開発・人材育成

- ・IoT 研究開発・共同研究【5件】

ITOC が研究開発を行っている小型センサー等デバイス向け組込言語 mruby/c の開発を進め、6月に Ver. 2.1 をリリースした。また、この技術利用を希望する県内企業、大学、高専との共同研究を実施。

共同研究先	研究テーマ
九州工業大学	マルチコア対応 mruby/c VM の設計と開発
松江工業高等専門学校 (株)テクノプロジェクト	mruby/c を活用した室内換気 IoT システムの開発
松江工業高等専門学校 (株)ニッポー島根 (株)島根情報処理センター	mruby/c と RBoard、smalruby3 を用いた IoT 教材の開発
島根大学 (株)イーグリッド	mruby/c を用いたテレマティクス向け車載器の試作開発
JUKI 松江(株)	mruby/c を用いた評価基板における開發生産性の検証

・IoT 人材育成

県内 IT 企業の IoT 分野への参入を促進するため mruby/c の実技講座を行った。

講座名	受講者数
mruby/c と RBoard ではじめる組込みプログラミング・ハンズオン (全2回)	10名
mruby/c と ESP32 ではじめる IoT プログラミング・ハンズオン! (全1回)	10名

②AI (機械学習) 共同研究・人材育成

・共同研究【5件】

これからの時代のキーテクノロジーである AI (機械学習) について、県内企業、県機関との共同研究を実施した。

共同研究先	研究テーマ
(株)シーエスエー	建築設備工事業向け積算システム「積算らいでん」における AI 活用可能性の検討
(株)テクノプロジェクト	類似論文の検索における機械学習の適用可能性の調査・検証
(株)ナカサ (株)アキュートシスコム	工場内における機器操作作業員の行動分析における機械学習適用可能性の検討
(株)出雲東郷電機	機械学習を用いた産業用スイッチ製造過程における誤判定低減の検証
島根県水産技術センター	藻場の海藻繁殖状況確認における機械学習適用可能性の検討

・機械学習人材育成

オンライン教材 (Aidmy 社) による機械学習スキル習得とデータ分析の実践経験を組み合わせた人材育成プログラムを実施。

講座名	受講者数
ITOC 機械学習人材育成プログラム	10社25人

(3) 人材育成

決算額 1,128 千円

県内 IT 企業向けに、新事業創出や競争力強化に資するセミナーを実施。新たに県内 IT 企業による異業種訪問企画などを実施した。高度人材育成としては、オンラインでの実践型講座を実施した。

①新事業創出/競争力強化セミナー

新規事業創出に向けた考え方、AI 人材育成、AI 導入と知財戦略、サイバーセキュリティ、ロシア IT 企業とのアライアンスの可能性など多岐に渡るテーマでセミナーを実施。R2 年度はすべてオンラインで実施した。

セミナー名	内容	参加者数
IT 技術を“武器”にした新規事業の立ち上げ方	IT 技術だけ優れていても事業は成功しない。新規事業の成功要因はミッションとチーム組成。	16 名
製造現場への AI 導入と知財戦略	中小製造業の匠の技を AI サービス化する可能性、知財戦略によるビジネス展開を模索。	35 名
サイバーセキュリティセミナー2020	サイバーセキュリティの基礎的知識と対策方法、最近流行している被害例などを学ぶ。	84 名
ロシア IT 産業情報交換会	ロシア IT 産業に精通する講師からロシア IT 企業とのアライアンスの可能性を模索。	5 名
DX を推進する AI 人材育成のあり方	企業の DX 化を図っていくには AI は不可欠。この AI 人材をいかに社内で養成していか。	38 名

②ITOC X-Tech ラボ

県内 IT 企業が新たなビジネス開発を行うにあたり、異業種のことを深く知る必要があることから“直接現場に行ってビジネスの種を探そう！”と企画し、異業種訪問会を実施した。

対象業種	訪問先企業	参加企業数
農業×IT	有限会社安藤農園（松江市）	5 社
観光業×IT	株式会社ちいきおこし（松江市）	3 社
ビルメンテナンス業×IT	株式会社さんびる（松江市）	5 社
小売業×IT	株式会社みしまや（松江市）	5 社
ホテル業×IT	松江ニューアーバンホテル（松江市）	5 社

(4) 高度 IT 人材の育成

決算額 2,017 千円

急速に拡大しているクラウド市場への参入、また DX 導入の鍵となるデータ分析などの技術習得を図るため、県内の IT のエンジニア向けに実技を伴う人材育成講座を実施した。

講座・セミナー名	内容	受講者数
クラウドハンズオン講座 (全 1 回)	AWS を利用したスケーラブルな Web サービスの構築方法を学ぶ。	9 名
データプランナー育成講座 (全 4 回)	DX 推進に向けて、データを読み解き、顧客に新たな価値を提案できるスキルを習得。	15 名

(5) IoT・AI 関連機器利活用事業

決算額 3,991 千円

5G、ドローン、VR、AR 等の先端技術を活用した新たな商品やサービス創出を促すため、ITOC アドバイザーとの共同取組を実施した。

・ イベントの実施

イベント名	実施内容	参加者数
5G 体験会・アイデアソン	「ドローンによるリアルタイム映像伝送」と「4K360 度カメラによる VR ライブ」のデモンストラーションとアイデアソンを実施。	22 名

・ 共同取組

共同取組先	内容
(社福) 島根ライトハウス	視覚障がい者歩行訓練における視線計測システムの活用
島根大学医学部眼科学講座	眼科手術における手術技能向上に向けた評価

・ 実証実験

実証実験
iPhone12 Pro LiDAR スキャナを使った点群データ取得・AR 表示の実証実験
RTK システム搭載ドローンで撮影した画像データからの 3 次元点群データ取得実証実験

(6) しまねデジタル利活用推進助成金 【5件】

決算額 14,417 千円

県内企業がウィズ・アフターコロナ時代の新たな生活様式への対応に向けて、デジタル技術の利活用を推し進めることで、売上拡大や生産性向上等を図る先駆的取り組みとなるモデル企業を輩出し、県内他企業へ波及させることを目的とした助成事業を実施。

企業名	事業名
(株)シバオ	粘土水分制御情報の遠隔双方向通信システム
(株)ドローンクリエイト	ドローンと AI による建物劣化検知技術開発
(株)しちだ・教育研究所	生徒に対してオンライン発達検査による個別指導システムの構築
(株)サカタ	IoT、AI、AR 技術を組み合わせた空き地有効活用システム
幸和建設(株)	工事管理システム開発による社内改善と同サービス化による売上拡大
須山木材(株)	工場の見える化と改善活動による一日当たり機械正常運転時間の向上

(7) しまねソフト研究開発センター (ITOC) の運営

決算額 50,876 千円

IT を活用したオープンイノベーションを推進するため IoT や AI の基盤技術の研究開発、産学官などとの共同研究、新規事業創出に資する助成事業などを実施する「しまねソフト研究開発センター」の運営管理を行った。

- ① 研究員の配置 : 昨年度に引き続き 3 名の研究員 (AI : 2 名、IoT : 1 名) を配置
- ② 顧問会議の開催 : コロナ影響により 8 月に顧問に対して個別にオンラインにて実施

③石見地域 IT 巡回専門員の配置 : 石見事務所に 1 名の IT 巡回専門員の配置

④教育機関向け人材育成支援 : ITOC 専門研究員による学生への技術教育活動を実施

学校名	実施内容
松江南高等学校	人工知能の基礎知識や活用シーンの紹介とワークショップの実施
松江高専 情報工学科	5 G の基礎知識の講義と 5 G の利活用ワークショップの実施
松江高専 情報工学科	県内での IoT 開発事例の紹介として、(株)モンスター・ラボ、(株)テクノプロジェクト、(株)島根情報処理センターの開発者による講演をコーディネート。

3 新事業支援課の事業

県内企業の新製品・新技術開発を促進するため産学官の交流、共同研究のコーディネート、知的財産活用支援や製品開発等の経費助成を行い、県内企業の成長分野参入や新事業展開や新分野進出等の意欲的な取組みを支援した。

実績値 新技術・新製品事業化件数 21件（目標値：10件）

（技術支援グループ）

（1）産学金官連携による課題解決・事業化の促進

決算額 14,612千円

技術コーディネーター3名、技術アドバイザー3名を配置し、高等教育機関や公設試験研究機関などとの連携により、県内企業の新事業展開や新分野進出等の意欲的な取組みをサポートした。

実績値 コーディネート件数 96件（目標値：70件）

事業化件数 17件（目標値：3件）

（参考：相談元58社・機関、コーディネート先94社・機関）

（2）新技術・製品開発の促進

決算額 27,722千円

各種助成金により自社製品や固有技術の開発を支援するとともに、技術シーズの県内企業への移転を促進するためのコーディネート等を行った。

実績値 採択件数 13件（目標値：8件）

① 市場調査支援助成金

新製品開発等に必要な市場調査等の経費を助成

（1／2以内、上限500千円、1年以内）

企業名	所在地	業種	交付決定額
(株)浅野歯車製作所	松江市	はん用機械器具製造業	500千円
大昌(株)	松江市	パルプ・紙・紙加工品製造業	180千円
(株)トレンド	松江市	広告業	480千円
Bench Work Tatenui	出雲市	木材・木製品製造業	368千円
積水成型工業(株)	出雲市	プラスチック製品製造業	500千円
(株)協栄ファスナー工業	雲南市	金属製品製造業	500千円
松江土建(株)	松江市	総合工事業	194千円

② しまね産業基盤高度化支援助成金

事業化促進助成金

大学や専門家等と連携して行う研究開発等に係る経費を助成

（1／2以内、上限5,000千円、2年以内）

企業名	所在地	業種	交付決定額
(株)藤井基礎設計事務所	松江市	土木建築サービス業	1, 156千円
アイレック(株)	出雲市	ゴム製品製造業	2, 309千円
キシ・エンジニアリング(株)	出雲市	生産用機械器具製造業	3, 335千円
(株)タカハシ包装センター	浜田市	その他の卸売業	3, 200千円

次世代技術開発助成金

大学・高等専門学校・研究機関等と連携による研究開発等に係る経費を助成

(1/2以内、上限10,000千円、2年以内)

企業名	所在地	業種	交付決定額
(株)ミライエ	松江市	生産用機械器具製造業	10,000千円

③ 特殊鋼産業成長分野進出促進助成金

特殊鋼関連産業の成長分野進出に向けた製品開発等に係る経費を助成

(1/2以内、上限5,000千円、1年以内)

企業名	所在地	業種	交付決定額
秦精工(株)	安来市	金属製品製造業	5,000千円

(3) 国の競争的資金活用支援

決算額 47,369千円

国の戦略的基盤技術高度化支援事業及び地域中核企業創出・支援事業に採択された企業に対し、当該事業の円滑な実施を図るため、支援機関として アドバイスや情報提供などを行った。

・戦略的基盤技術高度化支援事業

企業名	所在地	内容
アイレック(株)	出雲市	ラジアルタイヤの性能を飛躍的に向上させる新規ハイブリッド樹脂の開発
竹内電機(株)	松江市 本社：兵庫県	高収率粒子製造を可能とするインバータ式ハイブリットICP装置の開発
日本電子精機(株)	松江市 本社：奈良県	医療・介護従事者および対象者の負担を軽減する印刷法を基軸とした電極作製技術を用いた使い捨て可能な離床センサーの開発

(4) 知的財産活用の支援

① 総合支援窓口の設置

決算額 26,647千円

島根県発明協会との連携により「INPIT 島根県知財総合支援窓口」を設置し、県内中小企業等の知的財産活動に対して、アイデア段階から事業化までをワンストップサービスで支援した。

実績値 ・相談対応件数 1, 410件 (目標値：1, 500件)
 ・課題解決率 100% (目標値：90%)

② 補助金による外国出願支援

戦略的な外国への特許出願等を促進し、国際的な事業展開や海外での知的財産権侵害に対応するため、その出願に要する経費の一部を補助した。

実績値 ・ 助成件数 2件延べ4地域（目標値：10件）

採択区分	出願国	助成金額
特許	米国、欧州	788千円
特許	米国、インド	413千円

(5) 産業クラスター等に対する支援

地域産業の底上げ、個別企業の競争力強化を図るため、県内企業で構成する各種協議会等の運営や各種取組みの支援を行った。

- ・ 島根県特殊鋼関連産業振興協議会
（事務局活動の参画と、参加企業への意見ヒアリング）
- ・ SUSANOO
（研修事業等の企画運営、国内外展示会・商談会等の販路開拓支援）
- ・ 島根県鋳造関連産業振興協議会
（事務局活動に参画し人材育成研修の企画運営を実施）

4 販路支援課の事業

県内企業の製品・技術の販路拡大のため、首都圏や海外等の企業マッチング及び販売戦略等の助言を行い、県内企業の販路開拓支援を行った。

実績値 取引成立件数 62件 (目標値：120件)

(取引支援グループ)

(1) 県外での販路拡大に取り組む企業への支援

決算額 27,577千円

県内ものづくり企業の取引拡大を目的に、首都圏等で開催される専門の展示会・見本市への共同出展、出展経費助成、及び商談会開催を通じて、県外発注企業と県内製造業の効率的な商談の場の提供を行った。

実績値 取引成立件数 32件 (目標値：70件)

①展示会への共同出展

展示会名 (地域/会期)	出展社数	商談件数	成立件数
第5回名古屋機械要素技術展 (名古屋/R2.9.9-11)	7社	108件	1件
第23回関西機械要素技術展 (大阪/R2.10.7-9)	11社	433件	6件
第24回機械要素技術展 (東京/R3.2.3-5) 出展中止	—	—	—
計2展示会	18社	541件	7件
過年度開催展示会等商談におけるR2年度成立件数			4件
合 計			11件

②個別出展に対する経費助成

企業名	展示会名	商談件数	成立件数
(株)切川物産	国際粉体工業展東京2020	36件	1件
秦精工(株)	エンジンフォーラム神戸2020	10件	—
キグチテクニクス	フライングカーテクノロジー	7件	—
サン電子工業(株)	第13回オートモーティブワールド	20件	—
計4社		73件	1件
過年度開催展示会等商談におけるR2年度成立件数			16件
合 計			17件

③受注力向上取引先開拓セミナー

ウェブを活用し売上拡大を図ろうとする県内企業を対象に、WEBマーケティングを効果的に行うための受注力向上セミナーを開催した。

実施内容	時期	受講者数	満足度
「製造業における Web マーケティングのすすめ」 講師：株式会社イーグリッド 取締役インターネット Div. 部長 内藤千尋 氏	R2. 8. 6	22 社 39 名	90%

④商談会、企業交流会の開催

商談会名・地域	会 期	参加社数	商談件数	成立件数
中尾鉄工所 個別商談会	R2. 6	2 社	2 件	—
大羽精研 個別商談会	R2. 7	9 社	9 件	—
HILLTOP 個別商談会（オンライン）	R2. 8	2 社	2 件	1 件
アイメックス 個別商談会（オンライン）	R2. 9	3 社	3 件	—
大森機械工業 個別商談会（オンライン）	R2. 9	2 社	2 件	—
常盤 個別商談会（オンライン）	R2. 9	3 社	3 件	—
樫原電機 個別商談会	R2. 10	2 社	2 件	—
東京エレクトロテクノロジーソリューションズ 個別商談会（オンライン）	R2. 11- R3. 1	5 社	5 件	—
中国ブロック合同商談会 開催中止	R2. 9	—	—	—
計 8 商談会		28 社	28 件	1 件
過年度開催商談会における R2 年度成立件数				2 件
合 計				3 件

⑤ウェブを活用した販路拡大を支援

ウェブを活用して販路拡大を図る取り組みの経費に対して助成を行った。

企業名	事業名	成立件数
(株)キグチテクニクス	コロナ社会に適合した新たな営業システム構築	—
(株)コダマ	受注型から提案型へ、鮮度・存在感のあるウェブの構築による PR 力と顧客管理体制の強化	—
(株)研電社	ウェブサイト構築、並びにそれに伴う販路拡大事業	—
(株)ニッポー島根工場	Web ページ改良による新型コロナ禍での販売機会の拡充	—
馬潟工業(株)	Web 広告から HP への誘導による受託計測ビジネスの構築	—
(有)中田製作所	ウェブ発信力強化、リモート営業活動の強化による新規取引先開拓	—
泰精工(株)	個人商店方式からウェブを活用した組織的営業への転換	—
計 7 社		—
合 計		0 件

⑥外部リソースを活用したものづくり産業販路拡大支援事業（12月補正）

県内製造業の販路拡大につながる商社等の活動経費に対して助成を行った。

企業名	事業名	商談件数	成立件数
協同組合島根県鐵工会	機械要素技術展出展事業（東京）出展中止	—	—
計 1 社		—	—
合 計			0 件

セールスステップ導入支援セミナー&個別指導

実施内容	時期	受講者数	満足度
「新規顧客開拓！セールスステップ導入支援セミナー」 講師：株式会社アイランド・ブレイン 代表取締役 鈴木 徹 氏	R3. 1. 12 ～ 1. 15	17 社 27 名	82%

個別指導参加企業 5 社 時期 R3. 1～R3. 3 商談件数 13 件 成立件数 1 件

（2）首都圏等における販路開拓支援体制の整備

決算額 4,831 千円

①販路開拓アドバイザー等の配置

首都圏に販路開拓アドバイザーを配置し、県内製品の販売戦略の助言、及び販路開拓支援を実施した。

実績値 取引成立件数 3 件（目標値：10 件）

項 目	マッチング数	成立件数
販路アドバイザー・販路ナビ等によるマッチング	41 件	3 件

②しまねビジネスセンター東京の運営

決算額 12,163 千円

首都圏進出に取り組む県内企業のスタート時点の支援を目的として、しまねビジネスセンターを設置し、オフィス活用できるレンタルブース（6 ブース）、及び商談等に利用できるプレゼンルーム（定員 8 名）や応接室（定員 4 名）の提供を行った。

◇しまねビジネスセンター東京：東京都港区浜松町 2 丁目 2-15 浜松町ゼネラルビル 6F

実績値 高満足度利用者率 100%（目標値：90%）

レンタルブース入居企業 3 社（R3. 3 末現在）

企業名	所在地	業 種
オアシス島根(株)	出雲市	食品加工業
(株)コウダイ	松江市	機械金属製造業
(株)まつえペイント	松江市	塗料卸売業

(3) 下請取引の支援

機械金属・樹脂・電気を中心とした県内ものづくり企業と県内外発注メーカーとのパートナーシップ構築を目指した新規取引のあっせん活動を行った。

実績値 取引成立件数 11件 (目標値: 20件)

決算額 2,247千円

項目	マッチング数	成立件数
職員等による下請取引あっせん活動	243件	11件

また、適正かつ円滑な取引推進を目的とした「下請取引適正化講習会」「下請取引改善講習会」「価格交渉サポートセミナー」の開催により法令等の周知を行うとともに、下請駆け込み寺を設置し、取引に関する苦情相談対応を行った。

実績値 下請駆け込み寺相談件数 22件

(4) 取引拡大等のための技術習得等に対する支援

新規受注や取引拡大を目的に新たな技術習得や技術開発等を行う場合に必要な経費の一部を助成する。

実績値 申請件数 0件

(5) 産業クラスター等に対する支援

地域産業の底上げ、個別企業の競争力強化を図るため、県内企業で構成する各種協議会等の運営や各種取組みの支援を行った。

・金型研究会運営

県内金型関連業者14社で構成。定期的に会合を開催して、業界動向等の情報交換や会員企業の工場視察を行った。また、会員企業の若手従業員を対象にした「プレス加工技術セミナー」や「人材育成セミナー」を開催した。

(国際化支援グループ)

(1) 海外展開に取り組む企業への支援

① 島根ものづくり企業海外展開総合支援助成金 (製造業向け (食品・工芸品を除く))

ものづくり企業の海外展開に関する市場調査、販路開拓等にかかる経費の助成を行った。

実績値 採択件数 2件 (目標値: 10件)

決算額 1,469千円

取引拡大企業数※ 2社 (目標値: 9社) ※過年度含む

[現地市場調査等]

企業名	所在地	業種	対象国
(株)木村窯業所	江津市	瓦製造業	ベトナム

[海外販路開拓]

企業名	所在地	業 種	対象国
日本ミクニヤ(株)	出雲市	機械製造業	ベトナム

②しまね海外販路開拓支援助成金（食品・工芸品製造業、その他業種向け）

食品製造業等の海外販路開拓等にかかる経費の助成を行った。

決算額 5,691 千円

実績値 採択件数 6件 （目標値：25件）
 取引拡大企業数 8社 （目標値：23社） ※過年度含む

企業名	所在地	業 種	対象国
(株)千茶荘	松江市	農産品加工販売業	米国、英国
福泉堂	出雲市	和菓子製造販売業	米国
(株)kikunobu	松江市	衣類・小物の卸売業	フランス
(株)タケダ造園	出雲市	造園業	欧州
(株)イーシーアイ	出雲市	日用品の小売業	東南アジア
津山屋製菓(株)	出雲市	和菓子製造販売業	東南アジア 中国、米国

③勉強会等の開催

決算額 1,091 千円

セミナー及び勉強会を企画開催し、海外市場動向や進出事例等を学んでいただくことにより、参加企業の海外事業展開への意識醸成と計画策定に向けた支援を行った。

実績値 新規参加企業数 5社 （目標値：3社）

◆グローバル戦略構築セミナー（海外展開に向けた意識啓発セミナー）

時期	実施内容	参加者
第1回 9月28日	「どうする？アフターコロナ・with コロナ状況下での海外展開」 講師：国立大学法人 金沢大学 教授 松島大輔 氏	13名
第2回 11月13日	「タイの、そしてタイから見た製造業の今。これからの流れは！」 講師：島根・ビジネスサポート・オフィス 専門アドバイザー 一迫 守 氏	6名
第3回 12月14日	「タイのヘルスケア市場について」 講師：Care Expo Thailand 日本企業総合担当 ポーンチャイ ヨンワッタナスントン 氏	8名

◆しまね中小企業海外展開勉強会（海外展開の実践的知識を習得するためのシリーズ企画）

時期	実施内容	参加者
第1回 7月10日	「海外向けウェブサイトの構築とメンテナンス」 「海外販路開拓のための代理店・販売店活用術」 講師：グローバル・ビジネスマッチング・アドバイザー 山本 雅暁 氏	15名
第2回 10月21日	「海外展示会有効活用講座」 講師：(株) IAC 代表取締役 秋島 一雄 氏	11名
第3回 12月2日	「外国人材活用による海外事業展開」 講師：アールアドバンズ株式会社 代表取締役 綾戸 高志 氏	2名
第4回 2月7日	「ビジネス英語講座」 講師：トレード・コンシェルジェ Street Smart 代表 法嶋 由昭 氏	9名
R2.8月～ R3.3月	「英語版ウェブサイト構築に向けた個別指導」 講師：グローバル・ビジネスマッチング・アドバイザー 山本 雅暁 氏	4社

④海外展示会への出展、海外企業との商談会開催支援

決算額 1,842千円

拡大する海外市場の獲得を目指す県内製造業の販路開拓を支援するため、他の支援機関等との連携のもと、海外展示会への出展及び海外企業との商談会を開催した。

実績値 取引成立件数 15件 （目標値：5件）

展示会・商談会名及び地域	会期	参加社数	商談件数	成立件数
METALEX2020（タイ・バンコク） ※やまぐち産業振興財団との共同出展 出展中止	R2.11.18 ～21	—	—	—
CARE EXPO Thailand Healthy Living Asia 2021（タイ・バンコク） 開催延期	R3.2.11 ～14	—	—	—
タイ企業とWEB商談会 ※島根・ビジネスサポート・オフィスとの共催企画	R3.1.21～ 2.16	6社	25件	1件
計3展示・商談会		6社	25件	1件
過年度開催展示会等商談におけるR2年度成立件数				14件
合計				15件

⑤貿易・投資相談などによる支援

海外・国内のネットワークを活用し、県内企業の個別ニーズに対して、具体的な輸出入取引や、技術供与、海外展示会出展による販路開拓案件を中心に商談フォロー、貿易実務に対する支援、海外情報の提供など海外展開・取引に関する支援を実施した。

実績値 課題解決率 100% (目標値：90%)
取引成立件数 1件 (目標値：5件)

◆貿易相談、海外助成金事業者に対するアドバイス

地域	相談件数	業種
出雲部	34件	製造業 28件 (食品 7件)、非製造業 6件
石見部	32件	製造業 10件 (食品 4件)、非製造業 22件
合計	66件	

◆現地調査・情報収集活動等

財団メールマガジン等を通じて国内外のセミナー・補助事業、また、国内外のネットワーク先に対する県内企業の輸出商品に関する情報等を随時提供した。

◆海外助成金事務、フォローアップ

しまね海外販路開拓支援助成金の申請対応、フォローアップ、精算手続き等で採択企業訪問を行い、各社の支援を行った。

5 総務企画課の事業

(総務企画グループ)

(1) 他の産業支援機関との連携促進

①連携会議の開催

地域産業振興組織連絡会議を開催できない中、財団の支援施策をまとめた一覧表を整備し、各商工団体や市町村産業振興組織等へ送付し、情報提供を積極的に実施することで企業支援における連携促進に努めた。また、下記のWEB会議により他県の産業振興組織とも情報交換を行い、効果的な企業支援体制構築に努めた。

- ・産業振興財団中国ブロック役員会議
- ・産業振興財団中国ブロック総務部会
- ・産業振興財団中四国ブロック情報部会

その他 以下の市町村の審議会等の委員参加、個別市町村との意見交換会等

- ・松江市新製品開発支援事業補助金審査委員
- ・いずも産業未来博実行委員
- ・出雲市地場中小企業・小規模企業振興会議委員
- ・雲南市地域経済振興会議委員
- ・飯南町新産業創出支援事業補助金審査委員
- ・浜田市活力あるもの・ひとつづくり支援事業補助金審査委員会委員
- ・浜田港振興会理事及び幹事会幹事（ほか浜田港拠点化形成研究会会員、委員）
- ・浜田市指定管理者選定委員会委員
- ・益田市商工業振興会議委員 ほか

②人事交流の実施

県・市町村や金融機関等との人事交流を通じ、企業支援の体制強化を図った。これまでの県との人事交流、各機関からの職員派遣を受け、組織並びに人的連携と共に、それぞれの知識を活かして支援業務を行った。

人事交流先	期間	派遣	受入
島根県	R2.4～R4.3	1名	1名
松江市	H31.4～R3.3		1名
山陰合同銀行	H31.4～R3.3		1名
島根銀行	R2.4～R4.3		1名
島根県信用保証協会	H31.4～R3.3		1名

(2) 公的施設の管理

決算額 252,824千円

産業振興を支援する中核施設である島根県立産業高度化支援センター（テクノアークしまね）の管理を、島根県より令和2年度から5年間の指定管理者として受託し、新型コロナウイルス感染対策を図りつつ適正な維持管理と施設利用者へのサービスの向上に努めた。

実績値 利用者満足度率 96%（目標値：90%）

※指定管理者指定期間：令和2年度から令和6年度までの5年間

(3) 財団の自主企画

金型研究会運営 【所掌：販路支援課】【再掲】

県内金型関連業者 14 社で構成。WEB による近況報告会を実施した。また、会員企業の若手従業員を対象にした「プレス加工技術セミナー」や「人材育成セミナー」を開催した。

(4) 財団広報の強化

決算額 992 千円

財団の事業や組織について、企業や県民に幅広く知ってもらう広報活動に努めた。

主な活動：

- ・年度始めに県内各所で行う事業説明会を中止し、WEB コンテンツによる「オンライン企業支援施策紹介」として公開
- ・財団メールマガジン『アシスト』を企業等約 2700 先へ毎週火曜日に発信
- ・山陰経済ウィークリー広告スペースを活用した事業PR

実績値 広報活動：プレスリリース、マスコミへの紹介 98 件

広報実績：新聞&TV等の取り上げ状況 64 件

(山陰経済ウィークリー58%, 山陰中央新報 27%, 他新聞等 10%, TV等 5%)

(5) 新型コロナウイルス対策等の情報発信

新型コロナウイルス対策として、国、県などが新設、改正した施策の一覧表を作成して周知した他、県内各地の取組みまとめサイトや県内企業の感染防止取組み事例をまとめたサイトを立ち上げ、情報発信を行った。

- ・「頑張る人たちを応援したい！」 県内各地の新たな取組みまとめサイト
- ・「コロナ対策に関する県内企業の取組事例」の発信サイト
- ・「県内企業のコロナ対策製品の紹介」 県内企業が製造する関連商品の案内サイト



(6) 人材育成の強化

より深く企業支援を行うため、中小企業診断士養成研修や自主研修等の機会を積極的に増やし、人材育成の強化を図った。

- ・中小企業診断士登録：3名（中小企業大学校にて下半期の養成課程を受講し卒業）
- ・中小企業診断士1次試験合格者：1名（中小企業大学校にて3月より養成課程を受講中）

(7) 企業支援データベースを活用した自律的支援体制の構築

決算額 2,000 千円

(公財)全国中小企業振興機関協会「中小企業地域資源活用等促進事業」の採択を受け、クラウドを使用した独自の企業支援データベースを職員が中心となり構築し活用することで、変化する企業経営課題へ柔軟に対応し自律的に活動し続けていく取組みを実施した。

令和2年度事業の事業評価（行動目標と成果目標）

全体の事業目標：広義のCS調査による満足度100%【実績：91.3%】

課(グループ)名	事業	説明	行動目標	行動実績(達成率%)	成果目標	成果実績	達成率			
経営支援課										
(総合相談G)	総合相談及びコーディネート	個別企業相談支援 ・専門スタッフ配置 ・関係団体との連携	支援企業数	2,000社	2,845社	142%	不満足度	0%	1.4%	99%
			うち新規30%	600社	1,054社	176%	不満足度数	0	1.4%	99%
	よろず支援拠点	個別企業相談支援の拡充強化 ・専門家派遣や連携チーム支援	相談件数	2,300社	2,307社	100%				
	経営力の強化促進	経営力革新支援 ものづくり産業サプライチェーン再構築 等対応推進事業助成金 ものづくり産業生産プロセス変革支援事 業助成金 グループ化支援 「IoT」等活用による生産技術の導入 国際規格等認証取得支援事業助成金 衛生認証等認証取得支援事業助成金 事業承継新事業活動支援助成金	承認取得企業数	40社	110社	143%	付加価値向上企業率	80%	45%	56%
			採択件数	10社						
			採択件数	10社						
			グループ化支援 数	2グループ						
			採択件数	3社						
			採択件数	4社						
	専門家の派遣	個別専門家派遣事業(食品製造業含む) 集合研修(工場管理実践型含む)	派遣企業数	70社	68社	97%	課題解決率	90%	98%	109%
受講企業数			90社	144社	160%	改善実施率	90%	80%	89%	
設備の貸与	県制度	相談企業数	50社	29社	58%	付加価値向上企業率	80%	38%	48%	
(創業・人材支援G)										
起業家支援	経営計画策定、アドバイス等の起業家支 援	相談対応件数	200件	280件	140%	起業・創業者数	20件	51件	255%	
実践型起業塾	起業希望者のビジネスプランに対し、課題解 決型プログラムを提供、事業化に向け支援	参加者数	10名	12名	120%	創業者数・インキュ入居	20社	51社	255%	
プロフェッショナル人材戦略拠点	プロフェッショナル人材ニーズ把握及び コーディネート	相談件数	200件	245件	123%	成約件数	25件	15件	60%	
産業人材育成支援	ものづくり産業中核技術者育成 ものづくり新人育成研修	受講企業数	100社	100社	100%	参加者高満足度率	90%	89%	99%	
		開催講座数	8講座	6講座	75%	新人育成者数	30人	25人	83%	
しまねソフト研究開発センター										
先駆的研究・新サービス創出企業 支援の促進	先駆的研究の促進	研究テーマ	2テーマ	2テーマ	100%	事業化件数	5件	3件	60%	
		企業との共同研究	共同研究件数	8件	10件					125%
		新サービス創出企業の助成金等による支 援	採択件数	18件	9件					50%
	競争力強化を図る企業支援の促進	受託開発競争力強化助成金・開発ソフト ウェア販路拡大支援助成金による支援	採択件数	10件	4件	40%	取引拡大等した企業数 (過年度助成金を含む)	10件	5件	50%
ITの利活用に向けた支援	ITの利活用に向けた技術相談会・各種 セミナー等の実施	技術相談会・各 種セミナー等明 催回数	60回	41回	68%	参加者高満足度率	90%	85%	94%	
新事業支援課										
(技術支援G)										
産学金官連携による課題解決・事 業化の促進	技術コーディネートの実施	コーディネ ート件数	70件	96件	137%	事業化に取組み始めた件数	3件	17件	170%	
		採択件数	8件	12件	150%	事業化件数 (過年度助成金を含む)	7件	4件	57%	
		支援助企業数	4社	7社	175%	事業の目的を達成した企業数	4社	5社	125%	
		相談対応件数	1,500件	1,410件	94%	課題解決率	90%	100%	111%	
知的財産活用の支援	助成金による外国出願支援	採択件数	10件	2件	20%					
販路支援課										
(取引支援G)										
県外での販路拡大に取り組む企業 への支援	共同出展、出展経費の助成、商談会等の 開催による支援	マッチング件数	900件	642件	71%	取引成立件数	70件	32件	46%	
		マッチング件数	100件	41件	41%	取引成立件数	10件	3件	30%	
		入居企業数	6社	3社	50%	利用者高満足度率	90%	100%	111%	
		マッチング件数	200件	243件	122%	取引成立件数	30件	11件	37%	
		採択件数	1件	0件	0%	取引拡大等した企業数 (過年度助成金を含む)	2件	1件	50%	
国際化支援G)	海外展開に取り組む企業への支援	採択件数	10件	2件	20%	取引拡大等した企業数 (過年度助成金を含む)	9社	2社	22%	
		採択件数	25件	6件	24%	取引拡大等した企業数 (過年度助成金を含む)	23社	8社	35%	
		開催回数	7回	6回	86%	新規参加企業数	3社	5社	167%	
		マッチング件数	60件	25件	42%	取引成立件数	5件	15件	300%	
		相談対応件数	200件	273件	137%	課題解決率 取引成立件数	90% 5件	1件	20%	
総務企画課										
(総務企画G)	施設の管理	県産業高度化支援センターの管理運営	利用件数	500件	764件	153%	利用者高満足度率	90%	96%	107%
	島根県中小企業支援センターの 連携促進	連携による企業支援 ネットワーク構築推進	他機関連携件数	1,000件	868件	87%	貢献度調査	100%	95%	95%